

< その他、取組に特徴のある事例 >

いつまでも健康で働きがいのある集落をつくるために

1. 集落協定の概要

| | | | | |
|---------------|---|-------------|----|-----------|
| 市町村・協定名 | 愛媛県大洲市 <small>おおずし</small> 大越 <small>おおこし</small> | | | |
| 協定面積 8.8ha | 田 (25%) | 畑 (75%) | 草地 | 採草放牧地 |
| | 水稻 | 柑橘 | - | - |
| 交付金額 98万円 | 個人配分 | | | 50% |
| | 共同取組活動 (50%) | 道水路・法面維持管理費 | | 17% |
| | | 鳥獣害対策費 | | 6% |
| | | 役員報酬 | | 11% |
| 積立・その他 | | 16% | | |
| 協定参加者 | 農業者 11人、非農業者 2人 | | | 開始：平成12年度 |

2. 取組に至る経緯

当集落は、肱川河口部の急峻な地域に位置し、12戸28人で非農家の割合が多い。また、65歳以上の方が60%を占めるといふ高齢化と、農産物価格の低迷等により兼業農家が増える中で、定年帰農者等を活かした継続的な営農活動と、いつまでも健康で働きがいのある集落をつくることを目的に本制度に取り組むこととした。

3. 取組の内容

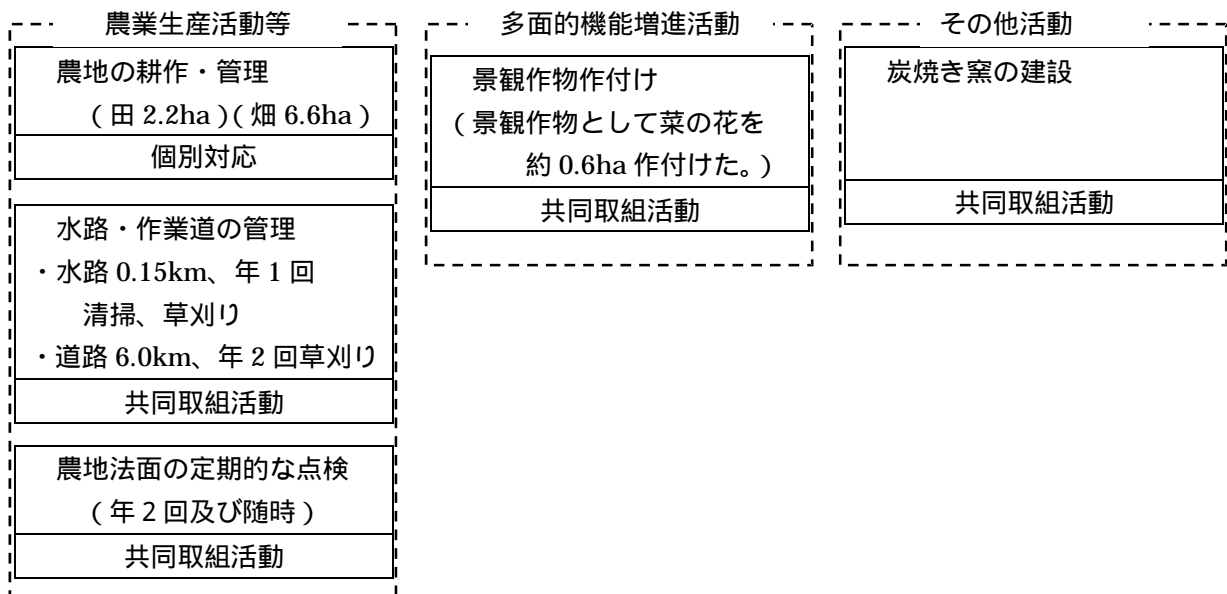
当集落は、昔から木炭の生産が盛んであったこともあり、高齢者が持っている知識や技術を次の世代へ継承する場をつくるとともに、木炭の生産はもとより畑にくず木炭を撒くことにより保水力のある農地を目指すため、炭焼き窯を設置した。



【炭焼き窯の設置】

[集落の将来像]
地域の实情に即した持続的な農業生産活動の体制整備

[将来像を実現するための活動目標]
高付加価値型農業として、減農薬や有機肥料栽培を推進し、食の安全を図る。
地場農産物等の加工・販売として、地産地消の観点から農産物及び炭等の加工品の直売所への出荷を促進する。



集落外との連携
集落内の農家に農作業委託が出来ない場合には、集落外の農家と連携を図り、農作業委託等を推進する。

4 . 今後の課題等

地域内農業者の高齢化に加え、野生鳥獣による農作物被害が拡大しており、今後、農地の管理が困難となりつつある。

[第 2 期対策の主な成果]
炭焼き窯の設置
作業場の建設
景観作物の作付けによる地域の活性化